

教室短信

◎本研究会の参与として、会の運営、とりわけ会誌の編集に長年にわたってご尽力いただき、かつ、当教室の授業（学部・大学院）もご担当いただいていた中川正弘広島大学国際センター教授（国際センターは 2018 年 10 月に森戸国際高等教育学院に改組）が定年を迎えられ、退職された。

◎2016 年度より参与として本研究会の運営、会誌の編集にご尽力いただき、同年より当教室の学部の授業もご担当いただいていた伊ヶ崎泰枝広島大学客員准教授が、今年度より、京都産業大学に准教授として赴任された。

◎2018 年度の授業は、集中講義の形式で、濱田明熊本大学教授（学部「フランス文学特殊講義」大学院「フランス文学語学特殊講義」）と東海麻衣子客員准教授（学部「現代フランス文学演習」）にご出講いただき、前年度同様、充実した授業が提供できた。

◎本学も参加している Campus France —フランス政府留学局・パリ本局 短期フランス語学留学プログラムの枠組みで、フランス文学語学分野から、2019 年春季セッション（2-3 月）に 1 名、夏季セッション（8 月）に 1 名が、サン=テティエンヌ大学附属の語学・文明国際センター（CILEC）での講習に参加した。

◎ 広島大学文学部とスイスのローザンヌ大学文学部との間の学術交流協定に基づいて、フランス文学語学分野の学生 3 名を含む 6 名の学生が、2019 年 8 月、ローザンヌ大学夏季フランス語研修短期留学プログラムに派遣された。

◎本研究会会員の玉田健二元安田女子大学教授が 8 月、逝去された。

◎2019年6月30日にアンスティチュ・フランセ九州にて開催された、第32回初心者のための九州フランス語弁論大会で、当教室2年の栄谷有夏さんが、2位に入賞した。演題は「書道」Shodo。

◎2019年11月9日に京都外国語大学にて開催された第1回全日本学生フランス語プレゼンテーション大会（前年度まで行われていた全日本学生フランス語弁論大会がリニューアルされた大会）にて、当教室3年の林史華さんが見事優勝に輝いた。演題は「日本的コミュニケーションを変えるとき」Il est temps de changer la communication japonaise。

◎ 下記の方々が上梓された。

宮川朗子、安川孝、市川裕史『大衆小説研究の現在』、広島大学出版会、2019年9月。

Marie-Noëlle Beauvieux, *Littéraire, trop littéraire : des compositions fragmentaires d'Akutagawa Ryūnosuke*, Hermann, Paris, janvier 2020.

東海麻衣子、ジャン＝ガブリエル・サントニ『シェ・マドレーヌ』、駿河台出版社、2020年2月。

(Mi.)

※本欄への情報をお寄せください。(akikomiy@hiroshima-u.ac.jp)